

『せん妄・認知症ケアプロジェクト』 新しい仲間を募集中! ボランティア活動 はじめてみませんか?



病院に入院すると、いつもとちがう環境で治療をうけるため、意識がぼやけたりする『せん妄』になることがあります。そのとき大事なのは、普段の暮らしに近づけることです。

そこで、地域の皆さんと医療者が共に取り組む『せん妄・認知症ケア』プロジェクトを立ち上げました。実際にボランティアが活動中の病院では、患者さんの症状が改善しています。

地域の活性化にも貢献するこのプロジェクトでは、新しい仲間を募集しています。ぜひご参加いただき、一緒に患者さんの暮らしに寄り添うケアを行いましょう!

共に
ケアする



ボランティアさんの声

仕事とは違う立場で、普通の人々がふつうに聞くことが大事だと思います。その人の感情を大切にしたいと思っています。

(こうもとさん)

患者さんの手を握ってお話を聞くと、その人の素顔が見えてくる。この活動を通じて、自分自身の心の引き出しもふえていっていると感じます。

(まつうらさん)

頑張って生きてこられた方々のお話を何と、これからの人生に対する不安が和らぎ、安心感が得られます。それは素晴らしい体験です。(おおえさん)

きゅうちゃん



京都の池庭で暮らすカップ。好物: きゅうり。親友: タヌ吉(たぬぎ)。のんびりしていますが、高齢者がこまっている時にはマッハ速度でかけつけます

STEP 1

ボランティア講座をご予約ください

STEP 2

講座を1回(90分)受講いただきます

STEP 3

活動日を選択していただきます

ボランティア講座の詳細内容は裏面をご覧ください。

活動の
流れ



連絡先

くわみず病院 師長室 竹丸恵子
電話番号 096-381-8743

※お電話は平日9時~17時の間にお願いします。

ボランティア講座



講師は、医師、看護師、
ソーシャルワーカー
などが担います。

日時

ただいま準備中です
6月より順次開始予定です
☆まずはお電話ください♪

集合場所
時間

病院受付を予定しています

講座内容

ボランティア活動・役割について

その他の内容: コミュニケーション、個人情報保護、感染予防

高齢者のせん妄の理解・対応について

その他の内容: 高齢者の心身の特徴、認知症ケア、回想法

特典

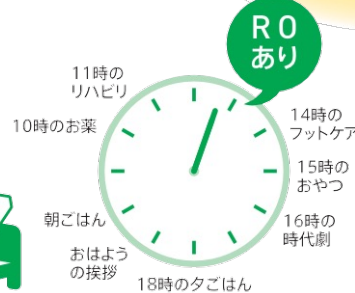
ボランティア活動の初回に
きゅうちゃんエプロンを
プレゼントいたします!

ボランティア保険の
ご案内をさせていただきます。

こんなことを
しています

活動事例

- 病室の環境を整える
- 補聴器やめがねの使用を促進
- 心配ごとに対応した関わり



RO
あり



[リアリティーオリエンテーション]
…見当識障害を補い不安を緩和

場所
連絡先

講座： くわみず病院内会議室
活動場所： 病棟内の病室又は談話室

連絡先： くわみず病院 師長室 竹丸恵子
電話番号： 096-381-8743

研究プロジェクト

高齢患者への住民ボランティアによるせん妄・認知症ケアの普及

■メンバー構成

【京都民医連中央病院】

- ・安東 一郎(精神神経科科長)
- ・谷田 静香(精神科医)
- ・布留川 美帆子(看護師長)
- ・倉田 幹子(事務)

【太子道診療所】

- ・内田 琢也

【大学機関】

- ・京都大学大学院医学研究科 社会的インパクト評価学講座 西岡大輔(特定准教授)
- ・同志社女子大学大学院看護学研究所 高齢者在宅看護学 小松 光代(教授)

■せん妄・認知症ケアプロジェクト責任者 長谷川美智子

[お問合せ] hasegawa_michiko@kyoto-hokenkai.jp

ボランティアさんが
関わると回復率が
高まります!

むりなくLet'sきゅう!

